

林アサコ展

潮だまり



















林アサコ

×

Halca

墨の匂いを最後に感じたのはいつだったか？

10年以上前

字を書くのが苦手だった私は失敗した半紙の隅に
自分の名前を何度も何度も書く練習したのを
墨の匂いと共に思い出した。

アトリエの中はすっと涼しく
アサコさんの好きなものと書きかけの墨絵たちが
はじから丁寧に並べてあり
アサコさんはそれらをニコニコしながら見つめ
硯の事、墨の事、色の事
少しづつ言葉をよく選びながら
ひとつひとつ嬉しそうに丁寧に話す。
こちらも楽しくなって笑顔になると
少しばにかんで
また笑顔で話す姿がとても印象的だった。

写真にもモノクロームの世界があるが
墨絵にはまた違う
独自の再現域があり
硯から出る色は一色なはずなのに
アサコさんの墨には
黒の中でもたくさんの色をもつ。

その中にまた一色、
見る者の目を引く
赤や黄などの原色が
絵に描かれたものたちが
息がしやすくなるように流れていた。

しんと静まる部屋のなかで
硯の中で泳ぐ墨の音が
しずかに響き
アサコさんの潮だまりに住むものたちの
呼吸がそばできこえるような気がした。

Halca

林アサコ

「潮だまり」

2013.6.2(sun)-6.15(sat)

galerieH